

車いす用クッション

ジェルセルシリーズ

TC-GC1-40.38

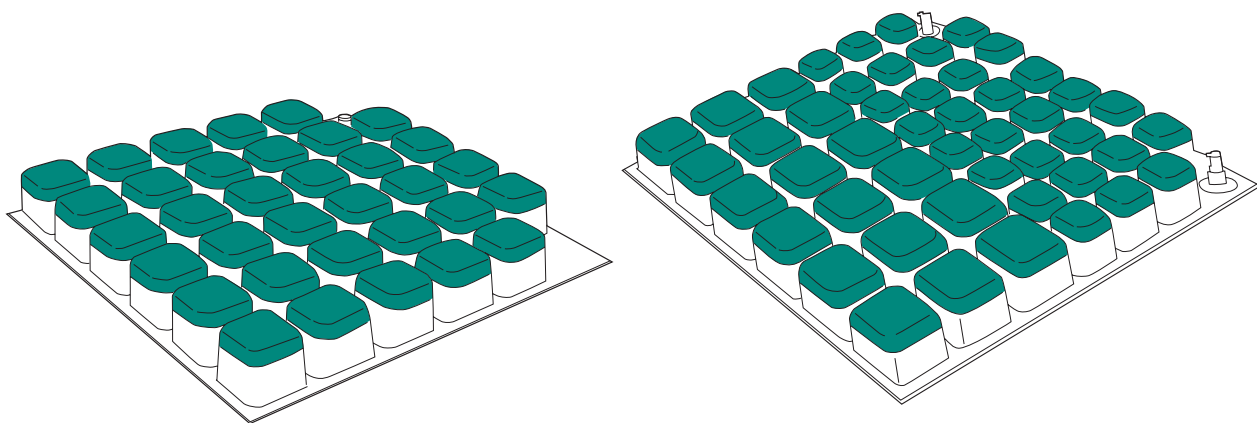
TC-GC2-40.38

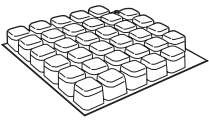
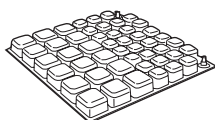
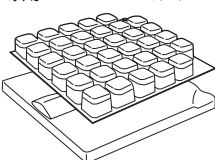
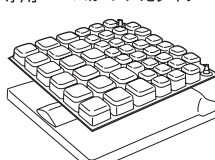
取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、タカノ製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

- ・この説明書にはジェルセルシリーズを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。
- ・ご使用前に、よくお読みの上、正しく安全な取扱い方法を十分理解されてからお使いください。
- ・この説明書は、いつでも出して見る事ができるよう、大切に保管してください。
- ・お求めいただきました商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更する事があります。



● ジェルセル	● ジェルセルG2	● ジェルセルプラス	● ジェルセルG2プラス
・1バルブのタイプ ・34コのセルからなります。  ●40cm幅 TC-GC1-40 ●38cm幅 TC-GC1-38	・2バルブのタイプ ・大小48コのセルからなります。  ●40cm幅 TC-GC2-40 ●38cm幅 TC-GC2-38	・ジェルセルに 専用ベースがついたタイプ  ●40cm幅 TC-GC1P-40 ●38cm幅 TC-GC1P-38	・ジェルセルG2に 専用ベースがついたタイプ  ●40cm幅 TC-GC2P-40 ●38cm幅 TC-GC2P-38

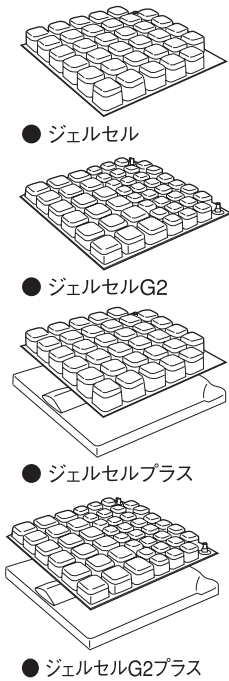
1.特徴

- エアとジェルの組み合わせからなる、車いす用クッションです。
- エアで体圧分散性に優れ、ジェルでズレを吸収します。
体圧分散性と姿勢保持を両方兼ね備えたクッションです。

2.仕様・お手入れ方法

●仕様

品 名		ジェルセルシリーズ ジェルセル・ジェルセルG2・ジェルセルプラス・ジェルセルG2プラス	
寸	品 番	幅(W)×奥行(D)×厚み(H) (cm)	重 量
	TC-GC1-40	W 40 × D 40 × H 5	1.5kg
法	TC-GC1-38	W 38 × D 36 × H 4	1.4kg
	TC-GC2-40	W 40 × D 40 × H 4	1.5kg
材	TC-GC2-38	W 38 × D 38 × H 4	1.3kg
	TC-GC1P-40	W 40 × D 40 × H 7	1.8kg
質	TC-GC1P-38	W 38 × D 36 × H 6	1.7kg
	TC-GC2P-40	W 40 × D 40 × H 6	1.8kg
付 属 品	TC-GC2P-38	W 38 × D 38 × H 6	1.6kg
	本 体	ポリウレタンフィルム、シリコンジェル	
付 属 品	専 用 ベ ース	ポリエステル	
	付 属 品	専用ポンプ、リベアキット	



●お手入れ方法

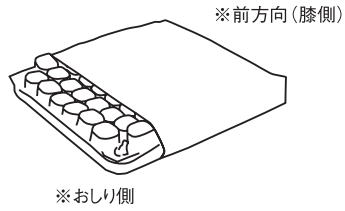
- カバーは防水加工となっています。少しの汚れの場合は、中性洗剤を含ませた布などでふき取して下さい。
- カバーは洗濯機で洗っていただくことができます。40℃以下の水を使用して下さい。
- 乾燥機のご使用は避けて下さい。
- 本体は、中性洗剤を含ませた布などで、汚れを拭き取して下さい。



注意

- クッションが、-20℃以下や、40℃以上のところに置かれていた場合は、ご使用前に室温と同じ温度に戻して下さい。
- クッションを折り曲げて使用しないでください。
- クッションの上で、飛び跳ねたりはしないで下さい。
- 火気には近づけないでください。
- 保管時には、なるべく平らに置いて下さい。

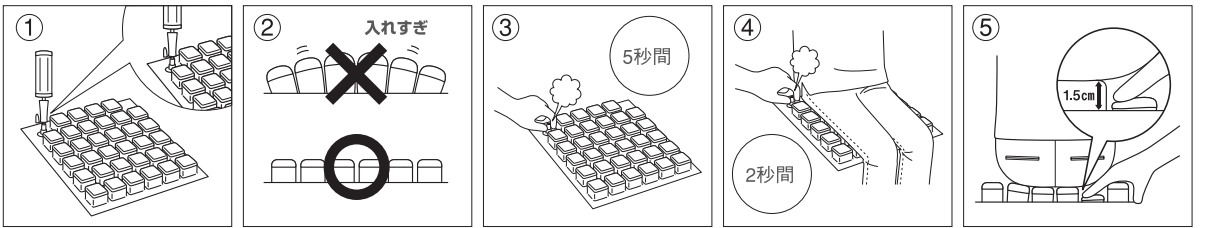
3.ご使用方法



- クッション本体を保護するために、必ずカバーをつけてお使い下さい。
- カバーをつける時は、上面と下面を確認して、クッション本体のバルブ部が後方になるようにして下さい。
- カバーの底面の滑り止めがついている面を必ず下にして“BACK”と表示してある方をおしり側にしておき、車いすの上に置いて使用して下さい。
- カバー、クッション本体は向きなど定期的に確認して下さい。

●調整の方法

【ジェルセル (1バルブ) の場合】

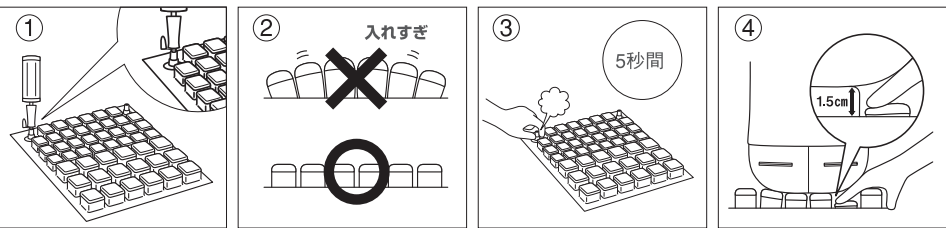


- ① 付属のポンプで、指で押して少し堅い感じがするまで、膨らまして下さい。(往復1.5回程度)
- ② 空気の入れすぎは、クッションに損害を与えるので、空気の入れすぎには注意して下さい。
- ③ クッションに座る前に、バルブを2ヶ所つまんで空気を抜きます(約5秒間)。これにより、クッションの内部と大気圧を同じにします。
- ④ 座って2秒間、もしくは、最も心地よいと感じるところまで、バルブをつまんで空気を抜きます。これにより、クッションがお使いの方に合わせた形になります。バルブを閉めてください。
- ⑤ 骨突出部とクッションの間は、1.5cm以上隙間があるようにしてください。

！ 注意
・空気量の確認は定期的に行って下さい。

！ 注意
・お使いの前には、バルブがしっかり閉まっていることを確認して下さい。

【ジェルセルG2 (2バルブ) の場合】



- ① 付属のポンプで、指で押して少し堅い感じがするまで、膨らまして下さい。(往復1.5回程度)
- ② 空気の入れすぎは、クッションに損害を与えるので、堅いと感じられる場合は空気の入れすぎには注意して下さい。
- ③ クッションに座る前に、バルブをつまんで空気を抜きます(約5秒間)。これにより、クッションの内部と大気圧を同じにします。バルブを閉めてください。ジェルセル2の場合は、そのまま座ってお使いいただけます。
- ④ 骨突出部とクッションの間は、1.5cm以上隙間があるようにしてください。

【ジェルセルプラス・ジェルセルG2プラスの場合】

- 先に専用ベースを入れます。少しまげて奥まで入れて下さい。
(曲がって折れ線が入っても、性能には問題はありません。また、マジックテープに、ベースがついてしまうことがあります。気になる場合は布などで、マジックテープを保護してから入れて下さい。)
- 空気の調整などは、通常と同じように行って下さい。

